



カナダ英語は アメリカ英語と どう違う!?

—世界で一番長い国境線の両側の英語—

English at the Canada-United States Border



講演者：J.K. Chambers 氏 (トロント大学 教授)

我々は、遠くに住んでいる人よりも近くに住んでいる人と同じような話し方をする。境目になるのは、海や山のような物理的なものもあれば、国境線のような人工的なものもある。カナダとアメリカ合衆国は、世界で一番長い国境線を共有する。その国境は、カナダにとって、カナダ英語の独自性を保つ「レンガの壁」のような役割を果たす場合もあれば、「透かしスクリーン」のようにカナダ英語とアメリカ英語の同化を促す場合もある。

本講演では、両国の国境線の両側の地点における調査の結果から、カナダ英語がアメリカ英語とどのように異なるのか、共通点は何か、といったことを論じる。カナダ英語がアメリカ英語と異なる点は、カナダ英語の独自性を示している。



撮影：本間 昌策 氏

日時：

9月26日(木) 15:10 ~ 16:40
(「カナダ研究入門II」の時間帯)

会場：

神田外語大学 3号館 301 教室

司会・通訳：

矢頭 典枝 氏

(本学 英米語学科 准教授、
グローバル・コミュニケーション研究所 副所長)

共催：

神田外語大学 英米語学科



J.K. (Jack) Chambers

世界的に有名な
Chambers 教授、
本学に来たる!

カナダ・トロント大学言語学部教授。専門は社会言語学。アメリカの Labov とイギリスの Trudgill と並び、「社会言語学の三大重鎮」の一人として世界的に有名。Canadian raising という言語現象や chesterfield という語の言語変化に関する研究など、カナダ英語研究の草分けとして知られる。

Jack Chambers という名で、ジャズ評論家としても知られる。マイルズ・デイビスの自伝 Milestones II は、ASCAP-Deems Taylor Award を受賞した。



神田外語大学 グローバル・コミュニケーション研究所

〒261-0014 千葉県美浜区若葉 1-4-1 TEL/FAX: 043-273-2324 E-mail: gci@kanda.kuis.ac.jp